

氏名（ふりがな）	岡本 明（おかもと・あきら）	
生年	昭和18年（西暦1943年）	
広島大学在職時の主要な活動歴	西洋史関係博士学位論文主査（1995-2007）、障害学生支援委員会学部委員長、学部研究・教育・図書委員長、中国四国歴史学地理学協会会長（2003-2006）、文化交流史比較プロジェクトセンター長（2004-2005）、地域アカデミー公開講座座長（2001-2003）	
退職年月	平成18年3月（西暦2006年3月）	
広島大学での最終所属部局	大学院文学研究科	
退職後の勤務先	福山大学（非常勤）、広島女学院大学（非常勤）、	
現職	呉海上保安大学校（非常勤）、就実大学大学院（非常勤）、尾道大学（非常勤）	
専門分野	西洋史（非常勤で歯世界史・日本史も担当）	
専門に関わらない特技・趣味等	フランス語（検定2級）、ヴォランティア通訳	
海外での活動歴	国際身分制議会史学会に参加（1998年、2000年）	
国内での活動歴	日本西洋史学会口頭発表（1974大坂大学、1978九州大学、1988千葉大学、2007専修大学）フランス政府給費留学経験者所科学分野シンポに参加（2004年）	
地域での活動歴	NHK市民講座「もう一度学ぶ」世界史を担当 中国新聞社文化講座 フランス語初級を担当	
著書など	『ナポレオン体制への道』（単著）、ミネルヴァ書房、1992年 『支配の文化史』（編著）、ミネルヴァ書房、1997年	
「広島大学マスタース広島」での活動歴	平和科目「ナポレオン戦争とヨーロッパ」を担当	
「広島大学マスタース広島」での可能な活動等	フランス政治史、革命史、経済史に関する実質中級、ないし易しい専門書のテキスト購読なら活動可能。 フランス革命・ナポレオン時代の戦争を他の戦争と比較しつつ継続することも可能。	
その他PR	日本近世・近代変革と西洋史のそれを同時代的・通時的に研究中、市民的公共性とはなにかの問題を歴史と現実のテーマとして考えたく思っている。	